

基本方針 4 大阪府立図書館は、大阪の歴史と知の蓄積を確実に未来に伝えます。

重点目標 4-2	地域資料および古典籍サービスにおける専門性を活かし、外部人材・機関とのネットワークを形成します。			
評価 (25年度)		【評価の理由】 連携事業数、研修実施回数は目標を大きく上回った。 連携事業については資料の紹介・展示、古典籍資料の調査・目録作成への協力により、より多くの人々に中之島図書館の所蔵資料をPRすることができた。 出前講習については府域図書館からの開催要望が多く、それに応える形で実施できた。		
重点指標	策定当初 23年度末	目標	25年度末 実績	進捗（[] は中間結果）
連携事業数	3	毎年 3	6	
研修実施回数 (講師派遣回数を含む)	2	毎年 2	6	
【アクション・プラン】				
	取組み		達成状況	
平成 25 年度	(1) 研修の実施 出前講習等の企画・実施 (2) 連携事業 連携先の拡大に向けた取組みの推進 (3) 参加型事業の検討		(1) ・府域図書館への情報検出前講習(3回) ・図書館を学ぶ相互講座(1回) ・府立大学、奈良大学への図書館及び図書館資料についての紹介(2回) (2) ・織田作之助生誕 100 周年記念事業推進委員会、立命館大学アート・リサーチセンター、府立大学貴重書部会、高麗大学(韓国)、大阪府農政室、大阪府府民文化部と連携・協力 (3) 110 周年に向けて中之島図書館検定等の参加型事業を検討	
平成 26 年度	(1) 研修の実施 出前講習等の企画・実施 (2) 連携事業 連携先の拡大に向けた取組みの推進 (3) 110 周年に向けて参加型事業の実施			
平成 27 年度				
【アクション・プランのねらい】(25年度当初に記入) ・蓄積してきた専門性を活かし、研修や講師派遣を積極的に実施することにより、外部人材とのネットワークを広げる。 ・耐震補強工事により自館での活動が制約される中、図書館はもちろん、他機関との連携事業や協力を進めて、前年度並みの実績を維持する。				